

2次案内改訂版

日本ピア・サポート学会 第18回総会・研究大会（高知大会）のご案内 ピア・サポートの原点を求めて —よさこいスピリットを生かして—

南国土佐の高知で皆さんをお迎えします！

第18回総会・研究大会は四国高知で開催されます。会場はJR高知駅に程近い高知工科大学永国寺キャンパスになります。本大会実行委員会では、『こじゃんと、高知らしい大会にしよう』とアイデアを練りました。

アメリカ、イギリス、カナダからピア・サポートのエッセンスが諸先輩によって我が国に伝わり約20年が経ちました。平成13年度から高知県教育委員会もピア・サポート活動実践研究事業を7年間にわたって推進し現在にいたっています。本大会テーマを「ピア・サポートの原点を求めて—よさこいスピリットを生かして—」と題し、シンポジウムでは、高知でのピア・サポート活動事業の実施状況を紹介し、その後どのようになっていったかもお伝えします。またピア・サポートの今後の展開によさこい祭りのスピリット「みんなが主役になれる日」をヒントにできればと考えました。

ワークショップでは、方言とピア・サポートについて現地企画を開催します。さらに、学生企画として、「ピア・カフェ」（学生交流会）をワークショップの時間帯にしました。日頃の皆様の実践や研究を持ち寄り、ご参加の方々、それぞれのピア・サポートの原点を求めて相互交流を深めませんか？

よさこい踊りと土佐料理で高知の仲間は皆様のお越しをお待ちしています。

第18回総会・研究大会 大会長 池 雅之

- 期 日：2019年9月15日（日）～9月16日（月・祝）
- 主 催：日本ピア・サポート学会 第18回総会・研究大会 高知大会実行委員会
- 共 催：高知工科大学
- 後 援：日本学校教育相談学会、高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知県私立中学高等学校連合会、日本学校教育相談学会高知県支部、高知県臨床心理士会（予定含む）
- 会 場：高知工科大学永国寺キャンパス（高知市永国寺 JR高知駅徒歩約15分）

第18回 総会・研究大会概要

★資格更新ポイント：2ポイント

1. プログラム

1日目▶ □9月15日(日)

9:00	9:30~12:30	12:30~13:30	13:30~14:10	14:20~17:30		18:30~20:45
受付	ワークショップ & ピア・カフェ (学生交流会)	昼食	開会行事 高知のピア： 大会趣旨	研究・実践発表 (分科会)	移動	情報交換会 (三翠園)

□ワークショップ 6部会【9:30~12:30】

★資格更新ポイント：1ポイント

第1部会 ピア・サポートのための方言理解〈現地企画〉
—「その人」の背景にある地域を知るために—
講師：岩城裕之（高知大学教育学部）
池雅之（高知工科大学共通教育教室・理事・調査研究委員）

買い物を終えて店から出るとき、あなたは店員に声をかけるでしょうか？ かけるとしたらどのようなことを言うでしょうか？ 「方言」というと単語を思い浮かべがちです。

もちろん単語や文法の理解は重要で、東日本大震災時には、遠隔地からの支援者が、被災者の方々の言葉を理解できないというケースが起っていました。しかし、近年、同じ場面でもどのようなもの言い方をするのかということにも地域差があることがわかってきました。無口な人、ずけずけと言う人、これらは単純に個人差と言ってよいものではなさそうです。単語としての方言はもちろん、コミュニケーションに見える地域差など、方言について考えたいと思います。

第2部会 研究論文につながる実践レポートの書き方
講師：栗原慎二（広島大学大学院・常任理事・研究紀要委員長）

時代が求めているのは単なる実践家ではなく、実践を吟味し、さらにそれに基づいて実践を構築できる研究志向の実践家です。特に今回は、研究そのものと言うよりも、実践をどのようによいレポートにまとめるか、というところに焦点を当てようと思っています。

なお、当日、論文や実践レポートを検討資料として提出できる方は、過去のものでもかまいませんので、是非申込時にお申し出ください。

第3部会 ピア・サポートに必要な「傾聴」の力を鍛える
講師：高野利雄（栄光学園・宝仙学園スクールカウンセラー・資格認定委員長）
吉田益美（群馬県SC・常任理事・広報委員長）

ピア・サポーターにとって傾聴は欠かせない態度とスキルですから、どのように伝えたらいいいのかはトレーナーにとって大きな課題です。傾聴による受容と共感的理解のトレーニングであっても相手に嬉しさと意欲をもたらすと言われます。ある高校生のレポートに「私がうれしかったのはアドバイスではなくて友だちが私の思いを理解してくれたことでした」とありました。そうした友だち関係をつくりだせる児童生徒学生が育成されることはきっと学校や社会を変えていくでしょう。私たち自身も傾聴力アップを目指したいものです。

第4部会 ハワイのピア・サポートと地域性を生かした児童生徒支援
講師：池島徳大（兵庫教育大学大学院・常任理事・会長）
懸川武史（群馬大学・常任理事・副会長）
西山久子（福岡教育大学・常任理事・国際交流委員長）

第4部会では、第19次海外（ハワイ州ホノルル）研修を振り返り、参加者とともに学びを深めます。研修では、まず、日本の生徒指導・スクールカウンセリングとピア・サポートを伝えました。次に小学校2校・中学校1校を訪問し、子ども主体の心理教育の実践を見学し、管理職・担当者と協議した後、州教育局児童生徒支援・教員評価・地域連携の各担当者から説明を受けました。希望者には、学会参加（環太平洋障害・多文化共生国際会議）の選択肢を設けました。WSでは、これらの見聞を共有し、研修参加者・海外のピア・サポートや児童生徒支援に興味のある方の中で協議を行います。

第5部会 SCと連携した学校でのピア・サポートの進め方〈現地要請企画〉
講師：黒沢幸子（目白大学・理事・調査研究委員）
中林浩子（新潟市立白南中学校・常任理事・研修委員長）

児童生徒のいじめ・不登校等の問題は、年々深刻化しています。文科省は、これらの問題対策強化に向け、スクールカウンセラーの全公立小中学校への配置を強く進めています。

そのような状況の中、子どもたちが「自分たちの問題を自分たちで解決しよう」とするピア・サポートの推進は、まさに時代の要請と言えるでしょう。WSでは、スクールカウンセラーと連携した効果的な学校でのピア・サポートの進め方について、スクールカウンセラーと学校現場双方の立場から有効な連携のポイントについて実践事例を紹介しながら参加者とともに考えたいと思います。

第6部会 ピア・カフェ〈学生交流企画〉
テーマ「ピア・サポートで繋がり、ピア・サポートを繋ぐ」
コーディネーター：松田優一（関西大学・理事・広報委員）
世話役：山田日吉（岐阜大学・常任理事・副会長）

昨年度の総会・研究大会で多くの学生にご参加いただいたピア・カフェ（学生交流企画）を今年度は規模を拡大して実施します。ゆったりとした雰囲気の中、日々の活動の共有はもちろん、各大学のピア・サポートの課題や今後の可能性について語り合しましょう。

2日間の研究大会の始まりに多くの同世代の仲間と繋がれること間違いなしです！是非気軽にご参加ください。

（※主に学生対象ですが、ピア・サポート担当教職員の方の見学は可能です）

□昼食【12:30～13:30】

□開会行事・大会趣旨【13:30～14:10】

土佐の教育改革でのピア・サポート推進事業とその後・よさこいコラボ（その1）

本大会のテーマ「ピア・サポートの原点を求めて—よさこいスピリットを生かして—」としました。本学会の前身である「日本ピア・サポート研究会」が2002年に設立され、学会として18回目の大会開催の運びとなりました。カナダでピア・サポートを進めておられたトレーバー・コール博士より大きな影響を受け、今日のピア・サポート活動推進の原動力になっていると言われていています。この活動を日本に紹介された森川前会長の講演を高知県の教育関係者が聞き7年間に渡って、土佐の教育改革の県教育委員会の一事業として展開されることとなりました。2日目のシンポジウムではその具体的な取り組みと現在を紹介します。今学会の大会趣旨では、よさこい祭りのスピリット「みんなが主役になれる日」をヒントに、参加された方々がそれぞれの現場で実践されているピア・サポート活動で体験したその思いをお互いに共有しあい、交流することを目指しています。また、ホームページでの池島現会長あいさつでもピア・サポートの真髓を「多様性（Diversity）の理解」と述べています。まさによさこい踊りは従来の正調踊りだけでなく、ジャズダンスやサンバなど様々なアレンジがOKです。衣装、音楽においても一定のルールありますが多様性が認められています。このスピリットはまさにピア・サポート活動も通じていることと思います。ピア・サポート活動の基本は維持しつつもその現場や地域に応じた活動展開がますます求められています。

本大会ではピア・サポートの原点と今後の発展と飛躍を再確認できる機会になることを願っています。

□ 研究・実践発表（分科会）【14:20～17:30】 PS=ピア・サポート

1 発表 40 分（発表 20 分+討議・質疑応答 15 分+座長からのコメント 5 分）×4 展開、移動 10 分

分科会	座長/進行	14:20～15:00	15:10～15:50	16:00～16:40	16:50～17:30
A	池島徳大 兵庫教育大学大学院 進行 三枝由佳里	「中一ギャップ軽減のための中学校における実践－初めてのピア・サポートへの取り組み」 川浦友裕（一宮市立北部中学校）	「ピア・メデイエーショントレーニングが友人同士の対立場面における介入行動に及ぼす影響の検討」松山康成（寝屋川市立西小学校・広島大学大学院）栗原慎二（広島大学大学院）	「子どもの主体的な学校行事の取り組みから見える学校風土～ピア・サポートの理念を生かした学校づくり～」 李幸美（大阪市立東中浜小学校）	「岐阜大学におけるピア・サポーター養成講座履修後の学生の実験的取り組み－学生の主体性に着目して－」 高口僚太郎・堀田亮・山田日吉（岐阜大学）
B	栗原慎二 広島大学大学院 進行 長野喜美子	「昼間定時・通信制高校での生徒の自立を促す支援の試み-高大連携による学生サポーターを活用して-」光富祥（太平洋学園高等学校）	「小学生におけるダイバーシティ教育による絵本を用いた他者理解についての研究-記述式アンケート調査から-」中野修（立命館大学大学院）	「高専低学年成績不振学生への相互学習型支援導入による効果」 石丸裕士（奈良高専）	「ピア・サポート活動による批判的思考および協調性の変化-1 年間の縦断調査による検討-」 永井暁行・佐藤淳哉（北星学園大学）
C	懸川武史 群馬大学大学院 進行 小林勝則	「大学における教育プログラムとしてのピア・サポート活動－ピア・サポート概論に着目して－」 佐藤淳哉・永井暁行（北星学園大学）	「特別支援学校高等部におけるピア・サポート活動の実践研究」 藤井 謙介（神戸市立横尾中学校）	「仲間が支え合う温かい学級づくりを目指して-保・小・中における異学年交流活動の実践より（2年間の取組）-」岡林由香（高知県心の教育センター）	「PSP は子どものメタ認知能力を高めるのか？」 山崎 茜（広島大学大学院）米田 成（大阪市立下福島中学校）
D	西山久子 福岡教育大学大学院 進行 大西由美	「不登校生徒に対してサポートグループ・アプローチを用いた事例の談話分析 その2」 相模健人（愛媛大学）八幡睦実（小樽市立忍路中央小学校）	「PS を長期に継続している中学校でのサポーターに与える影響－サポーター経験者の声を通して－」小松 宏暢（高知県 SC・土佐清水市立清水中学校）池 雅之（高知工科大学）	「サポートグループ・アプローチを活用した登校支援」 真田穰人（大阪市立加島小学校/広島大学）	
E	中林浩子 新潟市立白南中学校 進行 中田富美代		「SEL をベースにしたピア・サポート活動の実践-小学 2 年生を対象にした取組-」 五日市美穂（新発田市立東豊小学校）	「ピア・サポートトレーニングを用いた授業が受講生のチームワーク能力に与える影響」梅原 聡・松下 彩花・伊野 愛理・増田 梨花（立命館大学大学院）	「PSP を取り入れた学級集団づくりの研究-PS グループスーパービジョンでの振り返りを活かした目標設定を通して-」平井 陽伸（筑後市立羽犬塚小学校）西山 久子（福岡教育大学）

F	黒沢幸子 目白大学 進行 梅川康治	「小学生を対象としたピア・サポート活動の企画と実践が大学生に与えた影響の検討-PAC分析を用いた検討の試み-」 澤 聡一（北翔大学）	「ピア・サポート実践報告会」で繋がる地域-学生サークルの学外活動の展開-」 栗原ひとみ（植草学園大学）大木みわ	「私立 A 高校におけるピア・サポートトレーニングの取り組み（第三報）-保健医療クラスでの実践発表-」 小袋 伸枝・竹田 美保（浦和学院高校）	
---	--------------------------------	---	--	--	--

□ 情報交換会（懇親会）【18:30～20:45】

場所：三翠園 〒780-0862 高知市鷹匠町 1 丁目 3-35 TEL：088-822-0131

情報交換会（懇親会）を大会 1 日目の夜に開催します。どなたでもご参加いただけます。事前申し込みをお願いします。会場は、土佐藩主山内家下屋敷跡にある「三翠園」です。会場までは、当日スタッフがご案内します。

よさこい工房～祭彩

よさこい工房～祭彩は、よさこいを通して出会う人、モノ、街、そして感動を素敵に演出したいと 2006 年にスタート。振り付け、指導、衣装、音楽など、よさこいの総合プロデュースを手掛けております。当日はよさこい演舞を披露し、皆様とエネルギッシュなひと時を過ごしたく思います。

2日目▶□ 9月16日（月）

□ 総会【9：30～10：30】

平成30年度の学会活動報告と平成31年度活動案を提案し、今後の本学会のすすむべき方向について、会員のみなさまと共に共通理解を図りたいと思います。

9:00	9:30～10:30	10:40～12:20	～12:30
受付	総会	大会企画 シンポジウム	閉会行事

□ 大会企画シンポジウム【10：40～12：20】

テーマ：ピア・サポートの原点を求めて —よさこいスピリットを生かして—
土佐の教育改革でのピア・サポート推進事業とその後（その2）

本シンポジウムでは当時のピア・サポート推進事業担当の天野氏に登壇いただき、また大きく本事業をバックアップされた大崎元教育長にも背景にあった土佐の教育改革の流れの中でのピア・サポート活動がどのように位置付けられたかを紹介いただきます。さらには現在もその流れを汲みつつ継続している中学校の報告や当時の中学生らのその時の思いと現在どのように社会人として過ごしているかも紹介します。

これらをもとに会場の皆様とともに、これからのピア・サポートの在り方を検討できればと思っています。

・シンポジスト

天野比佐志氏（高知県教育委員会ピア・サポート事業元担当者、小中学校元校長）

大崎博澄氏（たんぽぽ研究所所長 高知県元教育長、）

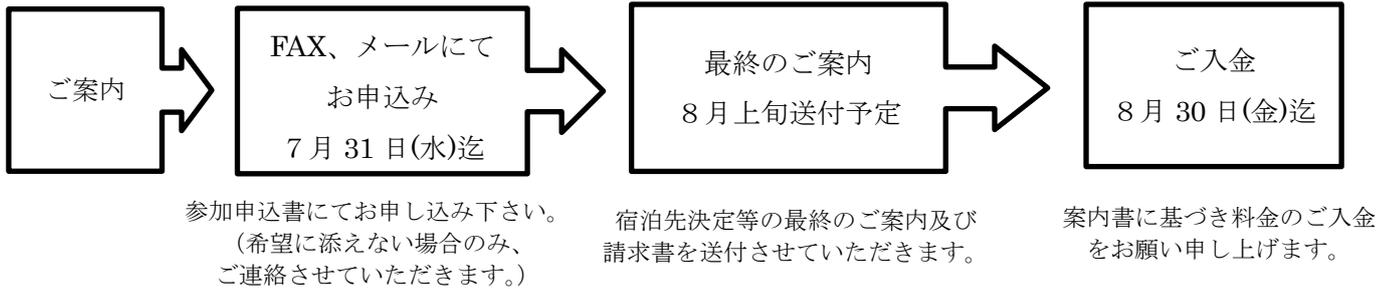
小松宏暢氏（高知県教育委員会 スクールカウンセラー）

・コーディネーター

池 雅之（高知工科大学共通教育教室教授、本大会長）

参加申し込み及び宿泊のご案内

1. 申し込み



申込締切日： 2019年7月31日(水)12:00 必着

(1) 申し込み方法

別紙、事前参加申込書に必要事項をご記入の上 2019年7月31日(水)までに末記の日本旅行高知支店へファックス又は郵送又はメールにてお申し込みください。

※お電話でのお申込みはお受け致しかねますので予めご了承ください。

※メールでのお申込みは、Word ファイルを学会ホームページの京都大会の案内からダウンロードし、必要事項を記入の上、メールに添付してお送りください。

(2) ご確認・精算方法

お申し込みの皆様には、8月上旬(送付予定)頃を目処に日本旅行よりお申込の請求書及びご案内書等を送付させていただきます。お支払いにつきましては、請求内容をご確認の上日本旅行の指定口座へ2019年8月30日(金)までに お振り込み頂きます様お願い申し上げます。お振込の際、振込手数料は申込者ご自身のご負担にてお願い致します。

2. 総会・大会参加費

(税込)

	会 員	会 員 (学 生)	非会員	非会員 (学 生)
総会・大会参加費	7,000円	3,000円	8,000円	3,000円
ワークショップのみの参加費	—	—	2,000円	2,000円
シンポジウムのみの参加費	—	—	2,000円	1,000円

9月6日(金)以降にお取消された場合、参加費などは一切返金致しかねます。予めご了承ください。

3. 情報交換会

日時：9月15日(日) 18:30～ 会場：三翠園

<情報交換会に関する取消料基準> (税込み)

	一般の方	学生・院生		9月5日以前	9月6日以降
情報交換会参加費	7,000円	4,000円	取消料	無料	料金の100%

※情報交換会の手配は旅行契約ではございません。手配先との取決めによる上記取消料を適用させていただきます。

4. 宿泊代

宿泊施設一覧を参照のうえ、ご希望のホテルの申込記号を申込書へご記入ください。

5. 昼食代

9月15日(日) お弁当・お茶付 1,000円(税込)

<弁当に関する取消料基準>

	9月12日以前	9月13日以降
取消料	無料	料金の100%

※弁当の手配は旅行契約ではございません。手配先との取決めにより上記取消料を適用させていただきます。